

ほんとにあるくおおやまかいどう

## #2 ホントに歩く大山街道

作者：中平龍二郎（なかひら・りゅうじろう 1938-）

刊行：平成19年（2007）

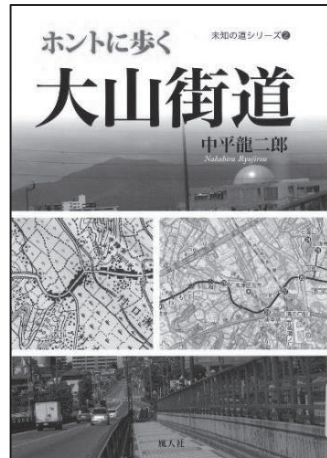
### 📖 解題

#### ■ 内容

未知の道シリーズの2巻目として、江戸時代中期以降に多くの人々が大山詣で参拝するための街道であった大山街道を、実際に歩くことを目的として編集された。

明治前半頃の大山街道を再現するため、陸地測量部の縮尺2万分の1の迅速図を参照し、実際に歩くルートを現在の1万分の1の地形図に表示している。著者は実際に季節ごとに大山街道を何度も歩いて、迷わずに歩けるように目標物や交差点などのポイント写真を多数掲載している。

大山街道にはいくつかルートがあるが、本書では赤坂御門から大山を結ぶルートを13のコースに分けて紹介している。余裕を持って歩くことができるように1コースを平均6kmにしてある。各コースに詳しい自然景観はもちろんのこと、地形、村や地名の歴史、周辺の見どころなどポイントごとの説明がある。このルートは大部分が矢倉沢往還と重複しており、矢倉沢往還は東海道の脇往還として煙草・生糸・茶・炭・鮎などを運ぶ経済的な道路であった。



[K291/736]

[291.37/200]

■ 作者

作者は中平龍二郎。1938年東京都生まれ。地図研究者・編集者。長年出版社で地図関連本の編集者として勤務。国連エスキャップ実施の第3次アジアハイウェイ調査に参加（1980年）、インド・スリランカのアジアハイウェイ地図を編集。大山街道・R246地域間ネットワーク交流会市民委員。川崎市宮前区歴史文化調査会員、日本国際地図学会員。

 参考文献

『第一軍管地方迅速測圖二万分一地形圖』復刻版 陸軍参謀本部測量局編  
大日本測量株式会社 1972 [291.03/85]

『神奈川県迅速測図二万分一』明治13年～17年測図 複製版 参謀本部陸軍測量局編 昭和礼文社 1974 [K292/79]

『明治前期手書彩色関東実測図』乾之部 復刻版 迅速測図原図復刻版編集委員会編 日本地図センター 1991 [291.03/106/1]

※神奈川県内の地図はかながわ資料/新聞・雑誌室に別置

『キャーッ!大山街道!!』中平龍二郎著 風人社 2011（未知の道シリーズ4）[K291/760]

『二万分一地形図 明治13年～17年測量』

二子村 [K292/3/8-3]、荏田村 [K292/3/4-2]

原町田村 [K292/3/4-5]、下鶴間村 [K292/3/4-6]

厚木町 [K292/3/4-9]、下糟屋村 [K292/3/6-5] [K292.64/17]

大山町 [K292/3/1-1-2] [K292.64/16]

『一万分一地形図 平成12年～17年修正』

溝口 [K292/114/2-8]、鷺沼 [K292/114/2-10]

荏田 [K292/114/1-6]、青葉台 [K292/114/1-7]

大和 [K292/114-1/12-1-1-2000]、座間 [K292/114-1/12-1-3-2000]

海老名 [K292/114-1/12-1-4-2000]、厚木 [K292/114/9-3-2001]

伊勢原 [K292/114-1/12-4-1-2000]